

	説明
<p>1 基本的な希望</p>	<p>(1) 痛みなど ・身体的痛みに対して鎮痛剤やその他薬剤を適切に使用することによって痛みがコントロールでき、楽に過ごすことができます。</p> <p>・「自然のままにいたい」とは、できるだけ自然な状態で死を迎えたい、したがって、ある程度痛みがあっても、強い薬で意識レベルを低下させることは避けてください、という希望です。</p>
<p>2 終末期になったときの希望</p>	<p>(1) 心臓マッサージなどの心肺蘇生法 心肺蘇生とは、心臓・呼吸が停止した際に、心臓・呼吸の活動再開を目的に行う処置です。 ①心臓マッサージ(胸部の圧迫を繰り返す方法) ②人工呼吸 ③電気ショック ④薬剤投与などを行います。</p> <p>(2) 延命のための人工呼吸器 延命とは、命を延長させる治療のことです。 人工呼吸器とは、自分で呼吸ができなくなった時に使用する機械です。</p> <p>(3) 鼻チューブによる栄養補給 細いチューブを鼻腔から通し、胃または十二指腸まで挿入します。挿入したチューブを通して、水分や栄養、薬などを投与します。</p> <p>(4) 胃ろうによる栄養補給 胃ろうとは、体外から直接、胃に水分・栄養を入れるために皮膚と胃に通した穴のことです。</p> <p>(5) 点滴による水分・栄養の補給 ・点滴による水分とは、すぐに重度の脱水にならないようにできます。栄養はほとんどなく、次第に低栄養が進行します。 ・栄養の補給とは、このほかに、太い静脈点滴チューブを通し、より多くの栄養を持続的に入れる高カロリー輸液(IVH)という方法があります。</p>

※ 医療行為について分からないことは、医師に相談するようにしてください。